

人を育てる

大項目		成果・課題等	施策番号	概要版より抜き出した進捗状況等
-1	子育て・教育日本一を 実感できる環境づくり	主な成果・ 実績等	(1)	保育所については、不足する地域での保育所の新設や定員増などの取り組みにより、年度当初において受け入れ定員は入所児童数を上回っている。
			(1)	放課後児童クラブは、2011年度から希望するすべての児童を受け入れることができ、運営内容の充実も進めた結果、保護者の満足度は高まっている。
			(1)	医師会等関係機関と連携しながら医師の確保や医療器械の更新などを行ったことによって、24時間体制での周産期医療や小児救急医療の提供を維持することができた。
			(1)	入院医療費助成の対象年齢を中学生まで引き上げた「乳幼児等医療費支給制度」の利用者や、特定不妊治療費の助成件数や相談件数も増加している。
			(2)	就学前教育から小学校教育への円滑な接続の重要性が高まるなかで、「保幼小連携」を進めており、児童一人一人の情報の共有化などの取り組みに進展がみられた。
			(3)	スクールヘルパーは既に学校運営に不可欠なマンパワーとなっており、また、普段の教育活動を保護者や地域に知ってもらう機会として学校開放週間の取り組みを設けている。また、北九州の企業人による小学校応援団など新たな取り組みも行っている。
			(4)	行政や学校、地域、警察等が一体となって総合的な取組を行い、少年の補導人員や刑法犯少年の検挙数は年々減少している。
		主な課題等	(1)	母子世帯が増加しているが、就業支援講座などの受講者数は減少しており、母子福祉センターの認知度の向上や就業支援策の活用が課題である。
			(2)	学力検査の結果、体力・運動能力調査の結果については多くの項目で全国平均を下回っている。
			(4)	依然として憂慮すべき状況にあり、さらなる非行防止対策や非行を犯した少年の立ち直り支援などに取り組む必要がある。
-2	アジアをリードする頭 脳拠点の形成	主な成果・ 実績等	(1)	学研都市内の大学や入居企業・研究機関から高い評価を得ており、産学連携施設の稼働率は目標を上回っている。
			(2)	北九州地域の産業人材を育成していくことを目的に「北九州地域産業人材育成フォーラム」を組織し、地域の理系学生を対象とした長期インターンシップ事業などを実施している。
			(3)	工業系製造業の分野において全国屈指の技能者を「北九州マイスター」として認定・表彰し、マイスターによる講演・技術指導などを実施している。
		主な課題等	(1)	学研都市内の研究者数、学生数ともに減少傾向にあり、維持・増加が課題となっている。
			(2)	企業アンケートでは、学研都市が人材の育成・供給の場として役立っていると「感じていない」企業の割合が約5割を占めており、企業と大学の接点を増やすこと等が課題である。
-3	まちづくりを支える人 材の育成	主な成果・ 実績等	(1)	生涯学習の場として市民センターにおいて「生涯学習市民講座」が開設され、大部分の利用者が満足している。
			(2)	市民センターでボランティア活動を行う「子育てサポーター」は登録者数が増加し、地域における子育て支援のリーダーとして存在感が高まっている。
			(2)	NPO法人や各種の市民活動の支援拠点である「市民活動サポートセンター」の登録団体や利用者数は増加している。
			(3)	持続可能な社会の実現に向けて、その原動力となる「市民環境力」の向上を目指し、子どもから年長者まで参加する「北九州市環境首都検定」等を実施している。
		主な課題等	(1)	生涯学習市民講座の開設数や延べ参加者数は漸減しており、実参加者数の約4割が65歳以上であり、20、30歳代は1割以下という状況にある。また、「生涯学習推進コーディネーター」の数も減少している。
			(3)	「環境学習サポーター」の確保と育成に力を入れるとともに、市民センターや小学校、企業などにおける環境学習・活動の支援につなげていくことが課題である。